

エラストグラフィでできること

TOP

エラストグラフィで
できること

超音波検査を
ご存知ですか？

お問い合わせ

エラストグラフィとは？

エラストグラフィは、超音波検査でしこりの硬さを画像化する、世界初の技術です。力を加えたときに柔らかいものであれば大きな変形を生じますが、硬いものであればほとんど変形しません。その変形の程度を色で表したものがエラストグラフィであり、周囲よりも硬い部分は青く表示されます。

実際には探触子を胸にあて軽く上下させるだけの検査です。

これまでの乳がんの研究ではがんは硬いと考えられますので、しこりの硬さを知ることは診断の一つの重要な情報となります。



マウスオンすると
エラストグラフィ
の画像になります。

ピンクリボン

日立グループはピンクリボン
活動を応援しています。

医療関係者の方は
こちらへ

エラストグラフィの検査方法

1. 上半身は服を脱ぎ、ベッドに仰向けに寝ます。
2. 左右両方の乳房を検査しますが、片方ずつ見ます。
3. 乳房がフラットの状態になった方が、死角が無くなり見逃しを防ぐことができますので、クッションを肩の下に入れたり、検査する側の腕を頭の方へ上げた姿勢をとることがあります。
検査をする方(医師、技師)の指示にしたがってください。
4. 超音波ゼリーが塗られ、プローブで乳房を滑るように検査します。同時に画面に検査している部分の映像が表示されます。
5. エラストグラフィの画像を得るために、プローブを軽くわずかに上下させます。

※ 一般的な検診時のスタイルであり、施設によって多少異なる場合があります。

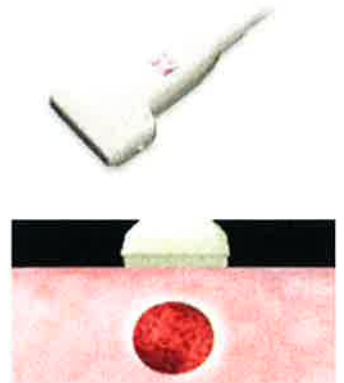
※ 超音波ゼリーを塗り、プローブで乳房を検査するため、少々くすぐったさを感じられる方がいらっしゃるかも知れませんが、決して痛い検査ではありませんのでご安心ください。

※ 精密検査ではなく検診であれば、検査時間は約5～10分です。

※ 絶食等の事前準備は必要ありません。

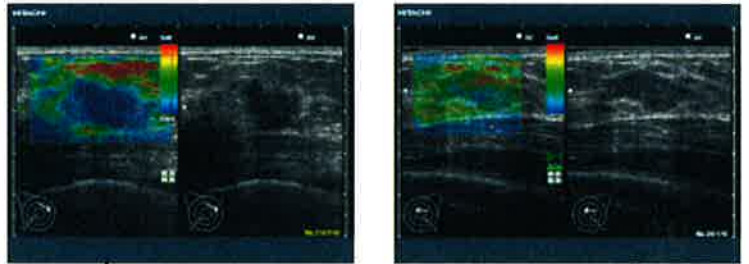


※イメージ画像



エラストグラフィで検査する意味

しこりを見つけても必ずしも乳がんとは限らず、すぐに治療しなくても、定期的に検査を受けるだけでよいことも多くあります。それを判断するための検査方法は色々あり、また複数の検査が相補って行なわれます。乳がん検査の一つである超音波検査にエラストグラフィを組み合わせることで、硬さという診断に有用な情報を付加し、検査を受ける方にとっても負担の少ない優しい検査がおこなえます。



- ▶ [超音波検査をご存知ですか？](#)

SMILE
Single Mammography

[ページTOPへ](#)

- ▶ [ご利用条件](#)
- ▶ [著作権について](#)
- ▶ [個人情報保護方針](#)

Copyright 2009 Hitachi Medical corp. All Rights Reserved

※本サイトは日本国内向けサイトです。